



第24号

令和3年3月1日
高山赤十字病院

病院長よりこんにちは！

拝啓 暑さ寒さも彼岸までと申しますが、まだ肌寒い日の続くこのごろ、お元気でお過ごしでしょうか。開業医の先生方はじめ関係機関の皆さまには、患者さんのご紹介など相互連携にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、1月に発生した高山市内の新型コロナウイルスのクラスターも比較的速やかに終息したようで安堵しています。これにはPCR結果が判明するまで自宅待機をとという保健所や高山市からの要請に対して、市民のみなさんが協力して本当によく守っていただいたおかげだと考えています。しかし、2月には県内の病院で最大規模のクラスターが発生し、これは場合によってその対応が非常に難しいことを示しており、私たちはこれまで以上に細心の注意を払う必要性を強く感じました。

ところで2月22日に市内の新宮小学校でシトラスリボンの贈呈式があり、当院と久美愛厚生病院の代表者が受け取りに出席しました。これは小学4年生から6年生の児童のみなさんが我々医療従事者に対して新型コロナウイルスに対して頑張っていることへの感謝のしるしとして非常にたくさん（各病院の職員数）のリボンを作製してくれたものです。代表して感謝の言葉を述べましたが、特に新型コロナウイルス感染者を差別しないことと、医療従事者を親に持つ友達を遠ざけないで仲良くしてくれることを児童のみなさんにお願いしてきました。最近ワクチンの話題一色で、ワクチン接種の様子がほぼ連日テレビで放送されています。製剤の安定供給に若干の不安がありますが、とにかくワクチン効果を期待したいものです。

敬具
病院長 清島 満

【同封文書】

○病院長あいさつ「病院長よりこんにちは！」

循環器内科の体制について

・・・P2

医師紹介『先生ってこんな人』内科・検査部長 今井 奨 医師 ・・・P3

○外来担当医表 3月分

○高山赤十字病院診療案内

…患者さんによるご予約の場合に当院への紹介状と共にお渡しいただくと便利です

○『地域連携係よりお知らせ』

○日赤たいむ Vol.55



◆◆[循環器内科]4月より常勤医2名となります！◆◆

昨年4月より富山大学・桑原弘幸先生が就任し、非常勤の先生方にご協力いただきながら運営してまいりました。そしてこの度、4月よりもう1名常勤医の先生をお迎えし2名体制となりますことをお知らせいたします。

なお、これまで毎週水曜日は心臓カテーテル検査のため外来を休診にしておりましたが、第2・第4のみ外来を行いますので、今後とも引き続きご紹介いただきますようお願い致します。

【新任医師のご紹介】

循環器内科 ^{ひだ ゆうき} 飛弾結樹 医師 平成28年卒

■4月からの外来スケジュール■

	月	火	水	木	金
初 診	常勤医	川 崎	佐 橋 (第2・4)	常勤医	常勤医
再 診					
ペースメーカ 外来	-----	-----	堀 部 (第1・3)	-----	-----
心カテ検査	-----	-----	○	-----	-----





◇◇『先生ってこんな人』シリーズ⑮◇◇

日ごろ紹介状を通じてお世話になっている開業医の先生と「顔の見える関係」を築き、安心して患者さんをご紹介いただけるようスタートした『先生ってこんな人』シリーズ。第15回目は、内科の今井奨先生です。



先生は地元ご出身でしたね。

旧高山市内で生まれ育ち、
斐太高校を卒業しました。
当院にも多職種に同級生が
居て心強いです。

内科・検査部長

いまい すすむ
今井 奨 医師

自治医科大学・H14年卒

医師になろうと思ったのは、いつ頃ですか？

義叔父が精神科医だった影響は多少あったかもしれませんが、小さい頃は医師という仕事を具体的に想像することはありませんでした。3歳上の姉からは、高校に入ったら勉強しておいた方がいいと聞かされており、両親は公務員になってほしかったようですが、私自身は資格を生かした仕事に興味を持っていて、高校2年生時に理系に進んだこともあり、3年生時に医学部受験を意識しはじめました。

ただ、これまで塾に行ったことがなく医学部受験がどんなものか分かっていませんでした。ちょうどその頃、自治医科大学という存在を知り自治医科大学1本で臨みました。



自治医科大学での 学生生活はいかがでしたか？

とにかく楽しかったです。塾に通ったこともない自分が塾講師と家庭教師のアルバイトを週3日、中学校から続けているハンドボールも週3日、授業は睡眠時間に費やしていました(笑)

授業は1年生時から解剖の授業があるなど早い段階で実践的なカリキュラムがあり、5年生時にはその年の国試と同様の試験を受けそれに受からないと6年目に進めないという前倒しのスケジュール。良くしたもので、皆それまでのんびりしているのですが急にアクセル全開で勉強しはじめ、その切り替えは目を見張る程でした。私も例に漏れずそのようなタイプだったと思います。



当院での初期臨床研修2年間はいかがでしたか？

現在のようなしっかりとしたローテーションではないのですが、特に大学の先輩にあたる浮田雅人先生と、現在岐阜大学救急部の吉田隆浩先生に多くご指導いただきました。当時から緩和ケアに興味があったためひとつの診療科に特化することなく、全科を経験してみたいと思っていました。

言うほど容易いことではないことは今となって思うところですが、3・4年目の旧高根村診療所では心エコーや乳腺外来・マンモ、胃カメラ、5年目の県立多治見病院ではICU・麻酔科から整形外科、病理を周り、荘川診療所に2年間勤務したのち当院に戻るまでの経験が、今大いに役に立っています。



日本緩和医療学会 専門医



日本緩和医療学会専門医となって

研修医の頃から学会に所属していましたが、専門医取得に興味のなかった私は周囲から専門医を取得したほうがいいとよくアドバイス頂きました。ひと昔前は緩和ケアとは「医師であるならば基本的に誰もが出来ること」と考え、専門的分野ではないと思っていましたが、近年は専門的な知識や技術を要する場面もあり、知識を得てみんなの役に立てればと思ったことがきっかけでようやく資格取得に至ります。ただ、緩和ケアを取り組むにあたり医師は何ができるのか、麻薬で痛みを緩和するだけではない役割があるのではないかと考えています。

医師になって1年目に「そうは言っても、病気になってみるとわからんぜ先生」と患者さんに言われたことを覚えています。そう、結局わからないのです。私は患者さんじゃないからわからない。それから夢や希望という言葉は使わないようになりました。患者さんが私と話して笑うことのできる一瞬があれば、それも果たす役割のひとつだと思います。診るというより聞くことが大切なのかもしれません。

また、日頃患者さんとの何気ない会話のなかで紡いだことを、のちにご家族にお伝えすることもあります。患者さんにご家族の間に普段では言いにくい本音や照れくさいことも第三者の私に話してくださることもあり、その言葉はのちにご家族のケアに繋がることがあります。

当院での緩和ケアについて

緩和ケアは「専門病棟で行われるもの」「専門的な医療者によって行われるもの」と思われがちですが、緩和ケアは手術や抗がん剤、放射線治療などのがん治療を行う医師や看護師などのがん医療に携わるすべての医療者によって提供されるもので、実際、がん医療に関わる全ての医師は2日間の「緩和ケア研修会」を受けることが必須になっています。

患者さんは、病状や家庭の介護の状況などにより、病院、自宅、緩和ケア病棟など療養場所を移動しますが、それぞれの療養場所において適切な専門的緩和ケアが提供されるようになっていますし、一人一人の患者さんに寄り添ってくださる開業医の先生が多くいらっしゃり、自分自身も勉強させていただきながら安心してご相談させていただいています。



内科・検査部長

いまい すすむ
今井 奨 医師



プライベートでの過ごし方は？

中学生の頃から大学卒業までハンドボールをしていましたが社会人となりしばらく遠のいていました。今は中高生になった息子たちもハンドボールをしているので、一緒に楽しんでいます。息子が小学校の頃にご縁あってチームコーチをしていました。

末っ子は長女で家ではふざけた親父ですね(笑)

最後にメッセージをどうぞ。

がん診療連携拠点病院には緩和ケアチームの設置が義務付けられていて、当院でも多職種による緩和ケアチームを組み、その研修は手前味噌ですが毎回好評いただき、年々チーム力が増しているように思います。

この度、「緩和ケア内科外来」を設けましたが、決してがんの特化しているわけではありません。がん以外の緩和ケア、年齢や病気の進行具合に関わらず医療そのものが緩和ケアであるという原点を忘れず務めたいと思っています。

今に至った背景には長年一緒に研修を重ねたチームメンバーへの信頼が大きく、初診にはチームメンバーの看護師が担当しますので安心して診療に集中し患者さんやご家族のお話を聞くことができます。

開業医の先生方にも安心してご紹介いただければ幸いです。

